

# 12. 8不戦の誓いヒロシマ集会

**日時** 12月8日(木曜日) 午後6時から

**会場** 自治労会館3階ホール

(西区民文化センターの南)

**内容** 講演「沖縄から見える戦争・基地・人権」

—不戦・非戦の原点、「命どう宝」「いのち尊し」—

**講師** 高里鈴代・オール沖縄会議共同代表



二度と、過ちを  
繰り返さないために

1940年台湾生まれ。東京都女性相談センター電話相談員、那覇市婦人相談員を経て1989年～2004年まで4期15年那覇市議会議員を務める。

現在、「強姦救援センター沖縄」代表、「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」共同代表、オール沖縄会議共同代表

主催＝憲法を守る広島県民会議  
原水爆禁止広島県協議会  
広島県平和運動センター  
8の日平和行動ヒロシマ女の会  
戦争をさせないヒロシマ1000人委員会

連絡先＝◆憲法を守る広島県民会議 (広島市中区鉄砲町4-7-202)

電話 082-221-2768 FAX 082-223-2027

◆広島県平和運動センター(広島市西区横川新町7-22 自治労会館1F)

電話 082-503-5855 FAX 082-294-4555

守ろう9条  
活かそう憲法

# 止めよう! 戦争への道

## 武力で平和・安全は守れない

◆1941年12月8日、日本は、ハワイの真珠湾を奇襲攻撃し太平洋戦争に突入しました。そして、アジア・太平洋諸国で2千万人を超す尊い命を奪い、沖縄、ヒロシマ・ナガサキの惨禍をもたらしました。

◆その深い反省から、戦争を放棄し、武器輸出や軍事研究など戦争に加担しない国づくりを進めてきました。

ところが、昨年強行成立した「戦争法」に基づき、南スーダンPKO派遣自衛隊に、他国軍を守るための「駆けつけ警護」や「宿营地共同防護」の任務が加えられようとしています。

◆一方、沖縄県民の民意と自治権を国家的な暴力で圧殺し、辺野古新基地建設強行の動きが強まっています。翁長知事の「埋立承認取り消し」を違法とする福岡高裁(那覇支部)判決に続き、東村高江周辺の米軍北部訓練場でのヘリパッド建設に反対する住民を機動隊が排除し、工事機材が強行搬入されました。



激しい内戦が続いている南スーダン



無抵抗の住民への機動隊の暴力

南スーダンへの自衛隊派遣が、75年前の「真珠湾」にならないよう、「12.8不戦の誓いヒロシマ集会」参加を心から呼びかけます。

# 阻むのは、私たち！ 殺し・殺されてはならない！

◆南スーダンには道路や橋の復旧などを任務とする陸上自衛隊施設大隊350名が派遣されています。



現在は、内戦激化で活動停止状態の施設大隊

ところが7月以降、内戦が激化し数日間で272名もの市民が犠牲になり、PKO部隊の宿営地も銃撃や砲撃を受け中国軍兵士2名が死亡し、陸上自衛隊施設大隊の宿営地にも銃弾が撃ち込まれ、さらに日本人4人を乗せたJICAの車両が走行中に銃弾を受けるなど、「停戦合意」は崩れ実質的な内線状態が続いています。



今度は、青森の普通科連隊の戦闘部隊を派遣

◆しかし、安倍首相は、「戦闘ではなく衝突」だとして、11月の部隊交代に合わせ「戦争法」に基づく「駆け付け警護」や「宿営地の共同防護」の任務の発令が準備されています。他国のPKO部隊の救出や国際機関の職員の警護・救出などに駆け付ける自衛官は、攻撃勢力との戦闘が避けられません。必ず、「殺し・殺される」事態に陥ります。



政府軍、反政府軍ともに少年兵を強制徴用

◆南スーダン政府軍、反政府軍とも少年兵を徴用しており国際的な人権問題になっていますが、彼らとの交戦の可能性も否定できません。

**このような南スーダンに自衛官を送ってはなりません！**

# 踏みにじられた！

# 沖縄県民「5度の民意」

民意は極まっている！

◆強引に辺野古新基地建設を進める安倍政権は、翁長沖縄県知事による埋め立て承認の取り消しは違法だとして代執行訴訟を起し、福岡高裁は政府の主張を追認する判決を出しました。



◆沖縄県民は昨年1月の名護市長選挙で反対を訴える稲嶺市長を再選、同じく反対を訴える市議が過半数を超えた9月の名護市議会議員選挙、翁長知事が現職(仲井間)知事を10万票差で破った11月の知事選挙、4つの小選挙区すべてで反対を訴える候補が自民候補を破った昨年12月の総選挙、今夏の参議院選挙と、実に5度にわたり「辺野古基地NO!」を表明しています。



**安倍政権は、国民の自己決定権と自治権を奪うな！**

◆国土面積の0.6%の沖縄に在日米軍専用施設の73.8%が集中し、戦後71年間、事件・事故、地域経済や環境など県民生活に多大な基地被害が続いてきました。



◆しかも、県民の意思ではなく、戦後、米軍の「銃剣とブルドーザー」で奪われたものです。そうした中で、幾度も示された沖縄県民の皆さんの意思を、しっかり包み、辺野古基地建設反対に連帯する取り組みを進めましょう。

希少動植物の生息する環境  
平和的に生きる権利  
自己決定権を守る闘いは、  
私たち自身の課題。  
命どう宝・いのち尊し